

日刊 動労千葉

81.11.11

No. 892

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)公衆(電話)七二二〇七

海上自衛隊「観艦式」粉碎闘争に決起。

11月3日、日帝・支配階級は、八年ぶりに海上自衛隊観艦式を復活強行した。動労千葉は、この日観艦式のとり行なわれる相模湾に面する湘南・鶴沼海岸で開催された護憲・反安保実行委員会の主催する「観艦式粉碎集会」に決起し、この露骨な軍事大国化・侵略軍隊化攻撃に怒りを叩きつけた。

「観艦式復活」のもつ意味は極めて重大である。独自の軍事大国化・改憲にむけて舵をきった日帝は、ついに今、海上自衛隊を本格的な「外洋型侵略海軍」として建設しようとしている。

「外洋型海軍」の建設が目的

11月3日、国会において鈴木は、「南西海域千カイリは、わが国の『防衛範囲』として自衛する」と言明し、本格的な「外洋型海軍」の建設を公然と宣言している。海自観艦式とは、即ち、侵略閱兵式なのである。

更に、今回の観艦式が、「82年リムパック」(米・日海軍を中心とした環太平洋合同軍事演習)へむけた一大実戦演習として行われている事に注目しなければならぬ。「82年リムパック」はすでに韓国軍をも含めた史上最大の軍事演習となろうとしており、日帝はいち早くこれへの参加を表明しているのである。

八年ぶりに復活された「海自観艦式」は11月1日にとり行われた「自衛隊観艦式」軍事パレードとならぶ、日本人民とアジア人民に対する反動的挑戦である。

「専守防衛」のたてまえすら公然とぬりかえて「前方戦略」敵の攻撃基地を叩くために積極的の攻めて出る戦略」を採用した今年度「防衛白書」、「お国のために戦って死んだ英霊をたたえるのは当然」と居おって公然と復活してきた「閣僚の靖国参拝」、自衛隊音楽祭への皇族の出席問題、「教科書改悪・愛国心教育」等々：軍事大国化・改憲攻撃はここまでおしよせてきている。政府・支配者階級は今さかんに反ソ宣伝をかきたて、「守るべきは国家」の宣

伝をかきならし、戦争への総動員体制づくりに全面的にうって出てきている。そのために三里塚の巨大軍事空港の完成二期工事着工攻撃を何よりも最優先の国策として設定し、同時に「国策のためには国民は全てをなげ出してでも協力すべきだ。国策に反対する者は、みせしめとしてでも叩きつぶさねばならない」という兇暴な攻撃に全力を挙げているのである。いよいよ本格化してきた三里塚二期攻撃を、この重要な位置づけのもとに、われわれは全力を挙げて闘いぬかなければならない。

今こそ、三里塚II反戦闘争へ！

11月3日、10時より、鶴沼海岸・太陽の広場で開催された抗議集会には、神奈川県・地区労働傘下の労組・民主団体を中心に三千名が結集して開かれた。動労千葉からは各支部より代表二〇名が合流し、軍事大国化攻撃「観艦式粉碎」と「右翼労働統一粉碎・三里塚二期着工阻止、12・3労働者集会(主催II動労千葉)」への結集を呼びかけた。用意された二千五百枚のピラは集会参加者にひとりひとり手渡され、またたく間に無くなり、労働「統一」問題をめぐる注目の総評臨時大会を翌日にひかえ、大きな共感をもって、くいにるように読まれていった。集会は「今こそ戦争への流れを労働者の決起で阻止しよう」と確認し、11時半、片瀬江の島までのデモに移った。



「外洋型侵略海軍」の建設を許すな！ 11月3日、動労千葉からも20名の代表が参加。湘南・鶴沼海岸

ところで、動労「本部」革マル反動分子は集会の終了間ぎわになつて、たったの二〇名そこそこの「部隊」でアリバイ的に姿をみせたが、デモも放棄してサッサと帰ってしまふという全くの闘争放棄をきめこんで全参加者から激しく弾劾された。常日頃、「拠点」を自認する新鶴見をはじめ自らの足下で全国一の多い、そして強力な米軍基地・自衛隊基地を自らの圏内にかかえている(軍用ジェット燃料も毎日大量に東京地本管内で貨車輸送されている)、とりわけ反戦闘争の重要な地域であるにもかかわらず、このような闘争放棄は徹底的に弾劾されなければならぬ。

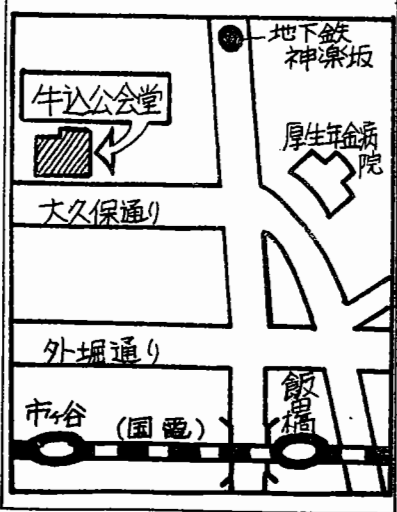
われわれは、千葉からの遠方からの早朝行動という条件の中で、二〇名の参加者とどまっただけでも、「反戦闘争の基軸」三里塚を闘う労働組合の気概に燃え、自らの血を流してでも、三里塚軍事空港へのジェット燃料を断つ81・3五日間スト」を闘いぬいた誇りにもえて、全員最後まで意気高くこの日の闘いを買徹した。

12.3

労働戦線「統一」粉碎労働者集会

- 主 催 国鉄千葉動力車労働組合
- 基調報告 動労千葉書記長 中野 洋
- 日 時 一九八一年十二月三日 午後五時三〇分
- 場 所 東京・牛込公会堂

(国電・飯田橋駅、地下鉄・神楽坂駅下車)



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！